

決算早期化を実現する「経理・決算の仕組み」の作り方

日時 2021年12月15日(水) 10:00~17:00 (6H)

会場 オンライン (Zoom)

※ZoomによるLive配信を予定しております。

視聴方法や資料類に関しては、開催2営業日前までにご案内いたします。

講師

武田公認会計士事務所 所長／公認会計士

たけだ ゆうじ
武田 雄治氏

対象

CFO、経理財務部門、経営企画部門

主催  一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

「決算早期化」のみならず、「働き方改革」「テレワーク実施」等の社会的要請がありますが、現状、「決算早期化」「決算効率化」を達成している企業は増えていません。経理部の人材不足も深刻化しています。そんな中、効率的に「決算早期化」を実現するためにはどうしたら良いのか、本セミナーでは「監査する側」と「監査される側」の両方の経験を持ち、決算早期化のコンサルティング業務に従事している講師が、今までの体験をもとに決算早期化・効率化、働き方改革の実現を達成する方法を、先進事例を交えながら分かりやすく解説します。

■参加料 (1名様)

- ◇ 日本経営協会会員(1名) : 33,000円(税込)
- ◇ 一般 (1名) : 40,700円(税込)

■受講お申込み方法

下記「WEBお申込みの流れ」を参照いただき、お申込みください。

【WEBお申込みの流れ】

- ① 一般社団法人日本経営協会
ホームページ <https://www.noma.or.jp>
- ② 「セミナー／講座」を選択
- ③ 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- ④ ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- ⑤ ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先ご住所を入力ください
- ⑥ お申込みをいただきますと、確認メールが届きます
- ⑦ 開催2営業日前までに担当から視聴いただくためのURL等をメールにてご連絡いたします

【セミナーで使用するテキスト・資料類について】

セミナーで使用するテキスト・資料類は、現物(紙)を送付予定ですが、ダウンロードURLをメールでご案内する場合もございます。

【オンラインセミナー受講上の注意事項】

セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、セミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

■参加料金お支払い方法

WEBにてお申込みいただきましたら、追って、振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にて確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までをお願いします。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照ください。

■キャンセルについて

開催日の5営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

お申込み・
お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会

企画研修グループ ●担当：緒方

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891 (直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp>

プログラム内容

1. 決算早期化を実現している会社の特徴

- 単体決算の特徴
- 連結決算の特徴
- 開示業務の特徴
- 会計監査の特徴
- その他の特徴

2. 決算早期化を達成できない原因と解決策

- 決算早期化を阻害するボトルネックとは
- 決算が全体的に遅い会社の原因と解決策
- 単体決算が遅い会社の原因と解決策
- 連結決算が遅い会社の原因と解決策
- 開示業務が遅い会社の原因と解決策
- 会計監査に時間がかかりすぎている会社の原因と解決策

3. 決算早期化を実現する「経理・決算の仕組み」の作り方

- 経理部は価値ある情報を出荷する「情報製造業」である。
- 決算早期化達成企業の経理部の在り方
- 経理部の在り方と決算早期化の関係
- 経理部の「7つの業務」からみる決算が遅延する根本的な原因

4. 決算早期化を実現するアウトプット事例

- アウトプット資料の見直し、効果
- アウトプット資料の他社事例
- 決算早期化を実現するための財務分析の方法
- 財務分析の事例紹介

5. 決算早期化を実現する「決算業務のマクドナルド化」

- マクドナルドは究極の早期化モデル
- 決算早期化達成企業の経理部の人材と人材育成方法
- マクドナルド化後の業務分担

6. 質疑応答

※サブテキストとして講師著『「経理の仕組み」で実現する決算早期化の実務マニュアル〈第2版〉』（中央経済社）をさしあげます。

講師プロフィール

武田公認会計士事務所 所長／公認会計士 たけだ ゆうじ 武田 雄治 氏

大手監査法人、東証上場企業の財務経理部門に勤務の後、2005年に独立。現在、武田公認会計士事務所所長。

「経理を変えれば会社は変わる」の信念のもと、多くの上場企業の会計コンサルティングを行い、経営者・経理担当者から圧倒的な支持を受けている。特に、決算早期化、IFRSの分野では第一人者と称され、セミナーはこれまで3,000人以上が来場、多くの方が「目から鱗が落ちた」と絶賛。ブログ『CFOのための最新情報』は月間のべ10万人以上が閲覧。

主な著書は、『「経理」の本分』、『決算早期化が実現する7つの原則』、『先行開示事例から学ぶ取るIFRS導入プロジェクトの実務』（いずれも中央経済社）など多数。